これまでの議論の整理

【第 1 回会議】

- 「公立高校の特色化・魅力化を図るための方策」について、普通科の特色化・魅力化、入学者選抜制度(特色選抜)の見直し等、多様な視点から協議がなされた。
- スクール・ミッション，スクール・ポリシーの策定が，各校の特色化・魅力化に有効であり，それらの策定に早急に取り掛かることが望ましいとの方向性が確認された。

【第 2 回会議】

- 事務局によって作成された各校のスクール・ミッション案をもとに協議がなされた。
- 事務局案に対しては，普通科の特長をイメージしやすいものにするために具体的な内容を盛り込んでもらいたいなどの意見が出された。

【第 3 回会議】

- スクール・ミッション，スクール・ポリシーの広報イメージ及びスクール・ポリシーに基づく教育活動の評価等についての協議が行われた。
- 広報イメージについては，SNSを活用するなど中学生や保護者にダイレクトに伝えるなどの工夫を凝らしてはどうかといった意見が出された。
- 評価については，「学校評価」を活用して，教育活動の改善につなげてほしいなどの意見が出された。

【第 4 回会議】

- 「公立高等学校の協働的な学びの確保に向けた方策」について協議がなされた。
- 「高校間連携」，「オンラインの活用」，「地域や各種団体等と関わる機会の創出」等の観点からの協働的な学びの確保の必要性について，多様な意見が出された。
- 部活動や学校行事等，リアルな生徒同士の関わり合いが協働的な学びの基本となるので，多様性確保の観点から適正規模を維持する必要があるなどの意見が出された。
- 将来の生徒数の減少を見据えて，再編統合して高校の魅力化を図る視点が必要ではないかという意見が出された。

【第 5 回会議】

- 「公立高等学校の地域の拠点としての施設の利活用の方策」について協議がなされた。
- 「多様な学びに対応できる施設」，「学校施設と社会体育施設等を複合化した施設」等，利活用の様々なアイデアが出された。
- 施設の利活用を進める上で考慮すべき点について，「管理運営体制」，「地元地域のニーズ把握の必要性」等の意見も出された。